

# しおんだより VOL.43



## 複数の医師の意見を踏まえて治療に当たります

当院は大学病院や大きな公立・私立の病院と異なり、若い研修医の先生が毎年いらっしゃるわけではありません。医師としてのキャリアが豊富なメンバーが診療に当たっています。

ただ、それぞれが単独で診療しているわけではありません。定期的に、複数の医師で患者さんの状態を検討した上で、治療方針を決定したり、治療の経過を検証したりすることにより、安全で、安心な治療が提供できるようにチームを組んでいます。

また、症例によっては、医師だけではなく看護師や薬剤師、管理栄養士などのメンバーが参加することもあります。当院の患者さんは高齢の方が多く、超高齢社会が到来していることを実感しますが、やはり、多職種が連携したチーム医療を行うことが重要だと考えています。

従来は電子カルテの小さな画面を囲んで検討を行ってききましたが、この度、55インチの大きなモニターを医局内に設置しました。画面が大きく、明るくなり、今まで以上にディスカッションがしやすくなりました。今後も、こういった体制を充実させて、より良い医療を提供できるようにして参ります。

週に2回、定期的な症例のカンファレンスを医局で開催。色々な意見を踏まえて治療方針を決定したり、検討・検証したりしています。

## 当院における外科手術の位置づけとは

ご案内の方もいらっしゃるかと思いますが、当院は、もともと外科の手術を特色とする病院でした。私が赴任した2015年ごろは、大阪公立大学医学部附属病院からもドクターをお呼びして、胃がんや大腸がんの手術も積極的に行っていました。しかし、悪性疾患の予定手術や、急性虫垂炎や十二指腸潰瘍穿孔などの緊急手術は、やはり、規模の大きな急性期病院で行うべきと考え、現在では下記の2つの手術を中心にしています。

一つは、高齢者の骨折等に対する整形外科の手術です。当院でたけなか整形外科クリニックの竹中院長と連携して、速やかな手術を実施できる体制を整えて居ます。そして、もう1つは良性の疾患で、退院や症状の改善には何らかの外科的処置が必要な方に対する手術です。これらの機能を備えることで、地域の方々に安心・安全と思って頂けるような体制を構築したいと考えています。



大きな病院では実施しづらい外科処置を担うのも当院の役割です。

## 今年も医局前廊下の胡蝶蘭がきれいに咲いています



きれいに咲いているのを見ると、ついつい写真を撮ってしまいます。

五月晴れの日もありましたが、徐々に曇りや雨の日が増えてきたような感じもします。もうしばらくすると梅雨入りの知らせも聞こえてくるのかも知れません。

季節は確実に移ろっていきますが、今年も、以前いただいた胡蝶蘭が、何度目かの花を咲かせてくれています。以前は、当院で外部業者として長く清掃を担当して下さっていた方が、御世話をしてくださり、一時期は茎と葉だけになったものを復活させていただきました。

現在は担当の方が変わり、ほとんど世話らしい世話はしていないようなのですが、この廊下の温度と日当たりと湿度は、胡蝶蘭にとっては、比較的快適なのかも知れませんね。まだつぼみが沢山あるので、当面はもう少しの間、お花を楽しめそうですね。（文責：狭間研至）

しおんだより 第43号 発行日：令和6年5月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)